

定例公安委員会の開催概要

定例公安委員会は、令和3年5月26日（水）に開催されました。

1 決裁事項

- 行政手続等における情報通信技術の利用に関する規則について
- 留置施設視察委員について
- 警備員の検定実技試験員の指定について
- 警備員の検定合格者審査試験員の指定について

2 審議事項

- 案件なし

3 報告事項

(1) 令和3年4月中の苦情の取扱いについて

県警察から、令和3年4月中の苦情の取扱いに関する報告があった。

苦情受理件数は、2件（警察あて2件）であり、パトカーの走行及び駐車に関するものであるとのことであった。

委員から、『法律を遵守し注意しながら運転するよう指導を願う。』との発言があった。

(2) 警察行政手続サイトの運用開始について

県警察から、警察行政手続サイトの運用開始に関する報告があった。

6月1日から、感染予防や国民の利便性向上のため、一部の手続を対象としてオンラインでの申請等を可能とする「警察行政手続サイト」の運用を開始するとのことであった。

委員から、『業務がスムーズに行えるよう、担当者への指導を徹底されたい。』との発言があった。

(3) 山岳遭難救助訓練の実施について

県警察から、山岳遭難救助訓練の実施に関する報告があった。

4月26日、鳥海高原矢島スキー場、5月7日、田沢湖スキー場において、山岳遭難事案に備えた対応、大規模な自然災害発生時の連携、クマによる要救助者及び救助者への被害防止を図るため山岳遭難救助訓練を実施したとのことであった。

委員から、『いざという時のための訓練であり、反省点等を踏まえ技術の習得に努めスキルアップを図られたい。』との発言があった。

(4) 秋田県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー委嘱状交付式について

県警察から、秋田県警察サイバー犯罪対策テクニカルアドバイザー委嘱状交付式に関する報告があった。

6月1日、警察本部において、サイバー犯罪捜査及び対策に必要な知識・技能について、講演や助言を受け、警察職員のサイバー犯罪対処能力の向上を図るため、専門的知見を有する大学教授、民間事業者の2人に委嘱状交付式を実施するとのことであった。

委員から、『職員の技術向上に繋がるよう願う。』との発言があった。